



上小っ子

発行者 校長 雨宮 基博

TEL 0554-62-3104

一人一人のちがいを大切に、協働する授業・学級づくり

上野原小学校・上野原中学校は、両校共に「一人一人を大切にする学校づくり」を進めています。そこで、5月22日(水)に昨年度に引き続き、教育実践研究家の菊池省三先生を招いた「小中合同特別校内研究会」を行いました。当日は、小学校は3年1組で、中学校は2年A組で、菊池先生による道徳授業を行いました。菊池先生は授業中一貫して「ほめて、認めて、励ます」姿勢を示しました。そして「やる気の姿勢・切りかえスピード・一人一人違っていい・独りぼっちを作らない」といった『聞き合い学び合う関係づくり』で大切な価値を丁寧に子どもたちと共有していきました。徐々に子どもたちが安心して発言し、楽しく学び合う関係が作られていきました。

放課後は、小中学校の教職員が一堂に集まり「一人一人のちがいを大切に、協働する授業・学級づくりのための教師のあり方」をテーマに研究会を行いました。菊池先生の授業における様々な姿から、教師が子ども同士の関係を繋げ学び合うための手立てを具体的に学ぶ機会になりました。本研究会を契機に、上小の子どもたち一人一人の「元気 やる気 勇気」を育み、学び合いを楽しみ授業づくりを一層進めていきたいと思ひます。



学校支援活動の充実を目指して

第1回学校運営協議会

本校は、コミュニティ・スクールとして出発し、3年目になりました。コミュニティ・スクールは、学校・家庭・地域の皆さんが協働し、子どもたちの豊かな成長を支える「地域と共にある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。学校運営協議会は、コミュニティ・スクールの要になる組織です。

5月23日(木)に第1回学校運営協議会を開催しました。本年度から学校運営協議会委員が地域の方々より4名増えました。第1回は、学校経営方針の承認により委員の皆さんと同じビジョンを持ち、「楽しい学校、上野原」の実現のために学校支援活動を具体的にどのように進めていくか話し合いました。学校現場の課題改善のために、地域の人的資源を活用し、どのように学校支援ができるか、その具体的方法について話し合いました。今後は、委員の方々に地域人材の地域コーディネーターの役割も担っていただく予定です。学校運営協議会を学校・家庭・地域の協働の要として、「一人一人のちがいを大切に、協働する」学校づくりの実現を目指して進めていきたいと思ひます。



友だち、先生、地域の人に気持ちのよいあいさつをしよう

児童会の4・5月の生活目標は、「友だち、先生、地域の人に気持ちのよいあいさつをしよう」です。

そこで、児童会本部の児童が中心となって、5月27日(月)～31日(金)まで登校時に「あいさつ運動」を行いました。今回の「あいさつ運動」は、児童会本部の児童が登校してくる児童と元気なあいさつを交わしながら、「元気」「笑顔」「自分から」といった視点でよかった児童に星の飾り(☆)を渡す活動も行いました。気持ちのよいあいさつの大切なポイントを意識する機会になりました。一人一人のあいさつをとおして、互いを尊重し、みんなで気持ちよく生活することができる学校、家庭、地域をつくっていきましょう。

